グランプリ

エントリー番号 0407　　一般名称 : 印鑑

$$|x|^{\frac{5}{2}} + |y|^{\frac{5}{2}} = 1$$

○でも□でもない、最も美しいしるしのカタチ

$|x|^a + |y|^a = 1$ の形で表される曲線の中で、$a>2$ のものを特に、スーパー楕円と呼ぶ。その中でも $a=2.5$ の時の曲線が最も美しいとされていて、様々な製品や UI 等の形状決定に使われている。

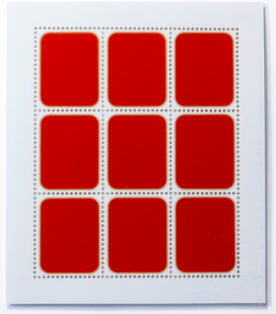
スーパー楕円は円弧による面取りよりも人間の目に違和感がなく、その柱形を持った時の手触りも優しい。スーパー楕円を用いることで、四角の印欄、丸の印欄、両方に美しく押せるだけでなく、円筒状の本体に比べ、向きも判別しやすくなる。

印鑑は、押した印章の外形と、本体の断面形状が同じ形状であることが多く、しるしと本体の形が深く繋がっている。そんなプリミティブな製品だからこそ、しるしにも、本体にも美しさを追求したい。そんな思いで制作を行った。

四角の印欄、円形の印欄どちらにも美しく押すことができる。

準グランプリ

エントリー番号 : 0554
作品名 : シヤチハタの切手
一般名称 : 切手



シヤチハタの切手

シヤチハタのアイデンティティカラーと言える朱色を使った切手
鮮やかな朱を差した便りは人から人へ思いの気持ちを伝える
簡潔な佇まいは多様な場面になじみ、これからの習慣になる
鮮やかな朱色が人々の便りに添えられることで暮らしが彩る
これからのしるしとしてシヤチハタの切手を提案する

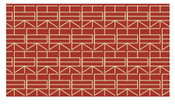
準グランプリ

エントリー番号 : 0385　作品名 : 名前柄紋様　一般名称 : 紋様

名前柄紋様　名前を紋様にする提案

自分の名前を紋様にする提案。名前を紋様化することで、しるしの習慣化を図る。日常生活の中で「わたし」を証明する機会は少ないが、「わたしの物」を証明する機会は多い。そこで、しるしを応用が効く模様に置き換えることで、ものに対する愛着を持たせながら、私の物だと証明するしるしを考えた。
「名前」と「書体」を指定することで模様化できるシステムを想定。

「原」紋様



「石川」紋様

「山田」紋様

「原」風呂敷

「石川」トートバッグ

「山田」ポケットティッシュケース